

独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO 登別病院通信

Japan
Community
Health care
Organization

発行日 2017年7月

NO 1



今月の表紙 撮影者 早坂祐美子

今月号の内容

- 院長のご挨拶
- 総看護師長のご挨拶
- 新任のご挨拶
- JCHO登別病院のご案内
- 婦人科検診はじめます
- 健診のご案内



院長のご挨拶

伊 藤 美 夫



当院は平成26年4月に登別厚生年金病院から地域医療機能推進機構 (Japan Community Health care Organization: JCHO)、JCHO登別病院となり、今年で4年目を迎えることとなりました。一方、一昨年前から病院の老朽化の問題と今後の診療体制が検討されておりましたが、平成32年4月を目指して移転建て替えが決まりました。移転地は登別駅近郊の登別市登別東町3丁目になります。この移転については登別市、登別商工会議所から登別駅周辺の再開発につながるものと大変期待されております。

新病院のコンセプトは登別市内で唯一の公的医療機関として、室蘭市内の医療機関

(急性期) に搬送されている軽度急性期の救急患者の受入を強化するとともに、回復期の病床（地域包括ケア病床）や訪問看護ステーションを運営し、地域の開業医・病院等と連携して地域包括ケアの構築に取り組むことにより、登別市（白老町を含む）における地域医療の要としての役割を果たす、というものです。

次に新病院の基本構想をお示しいたします。病床数110床。病棟構成は2病棟で一般病棟55床（急性期40床、地域包括ケア15床）、回復期病棟55床（回復期リハビリ55床）。主な診療機能は救急医療（輪番）、在宅医療（訪問看護、訪問リハビリ）、通所リハビリ、疾患別リハビリ（脳リハ、運動器リハ）、在宅療養支援病院。診療科は整形外科、外科、内科、泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科の6診療科。附属施設として訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター（受託事業）が設置されます。現在の診療機能をさらに充実し、地域の要望に応えられるしっかりとした内容になっております。

地域包括ケアなどの地域医療構想策定が進む中、当院はこれからも急性期、回復期を担当する病院として地域医療に貢献してまいります。安心した地域医療を支えるJCHOの理念を推進できるようスタッフ一同頑張っていく所存ですので、今後ともご支援のほどよろしくお願ひいたします。

総看護師長のご挨拶

小 熊 佐智子



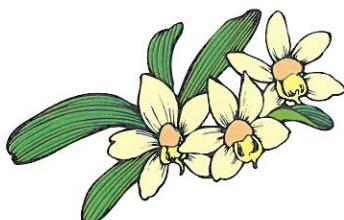
このたび2017年4月1日をもちまして札幌北辰病院より異動し、総看護師長を拝命いたしました。これまで以上に職責の重さを感じ、日々精進していく所存です。

当院は、登別唯一の公的病院として平成32年4月に登別東町へ新築移転が決定しており、新病院の建設や電子カルテシステムの導入など課題は山積みです。安心・安全な医療と看護の提供を目指し、地域の皆様に信頼される病院づくりに積極的に取り組んでいきます。

看護課は「看護の専門性を高め患者様に信頼される看護を提供します。」と看護課理念に掲げています。私は「人材を人財に

育てる」をモットーに、看護師一人一人の個性を大切に自律性や専門性の支援を行っています。看護師として社会人としての知識・技術・態度の習得から、倫理観と人間性を高め確かな根拠に基づいた看護を提供できるよう「看護の質」向上に努めてまいりたいと思っております。又看護職員一人一人が自身と誇りを持ってやりがいや達成感を感じながらお互いに信頼し影響しあえる働きやすい環境をつくりたいと思っています。言葉で伝えることは簡単ですが、組織の風土や文化となるよう日々の積み重ねが大切だと思い努力してまいります。

今までとは病院の規模や求められる機能が違う組織において、管理や経営に関しては総看護師長1年生ですので、不安もあります。（体調も）自信がない部分も多くあります。地域と病院組織・職員との中で速やかに判断し、意志決定ができるようになりたいと思っておりますが、大変未熟ですので皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。



新任のご挨拶

整形外科医師 田 中 宏 豪
整形外科医師 田 中 秀 直
整形外科医師 中 山 恵 介



田中宏毅先生

田中秀直先生

中山恵介先生

副総看護師長 岩田佳代



遠く九州の地から今年4月より赴任してきました。1ヶ月程が経過しましたが北海道という土地の魅力や、あたたかな患者さんの笑顔に感化されながら有意義な時間を過ごしています。3月末に引っ越してきた時には路肩に高く積もった雪に呆然としましたが、九州から持ってきた車で何とか夏タイヤのまま1ヶ月乗り切ることが出来ました。

整形外科分野における最も多い患者さんの訴えの一つに腰痛があります。レントゲンやMRIなどの検査を行って原因がわかる場合もありますが、およそ8割は原因不明といわれています。しかしながら患者さんのお話を傾聴し、看護師やリハビリスタッフをはじめとする多職種で連携しつつ、妥協のない医療を提供できればと思っています。ある名医の言葉に「患者がどんな病を抱えているかよりも、どんな患者が病を抱えているかを知ることの方が重要だ」というものがあります。患者さん一人一人と真摯に向き合いながら、早期回復に少しでも貢献できれば幸いです。

4月よりJCHO北海道病院より異動して副総看護師長を拝命いたしました岩田です。大変微力ではございますが、皆様からの指導ならびに助言や協力をいただきながら、病院を活性化する一助を担えるよう一所懸命努力させていただきます。

同じJCHOという組織でありながら、組織の風土やシステム、業務の流れ、使用している医療機器や衛生材料、提出書類など、昨年北海道病院へ異動したときも組織を知ることで1年が過ぎたように感じます。今年は登別病院へ異動となり、同じように大変ご迷惑をおかけしており本当に申し分けなく思っておりますが、1日も早く慣れていきたいと思っております。

組織がJCHOへと移行し人事異動を活性化していく体制となり、今回で北海道の3施設を制覇したことになります。私が異動することによって、それぞれの組織に新たな風を通すことが人事異動の意義かと考えております。新たな風が新たな雰囲気を作りスタッフやチーム全体が新たな気持ちになっていただければ、何かしらの新たな一步を踏み出せると信じています。

まだまだ未熟ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。

新任のご挨拶

副薬剤科長 阿保 信義



この度、副薬剤科長への就任を仰せつかりました阿保でございます。微力ではございますが、皆様のご協力のもと、職務に邁進していく所存でございます。

まだ慣れないことも多く、皆様にはご迷惑をお掛けすることも多いと思いますが、病棟での活動も積極的に行い、患者様と接する機会を少しでも増やしていきたいと考えております。

また、地域の皆様にも満足していただける病院の一員として、スタッフの皆様とも連携を密にしていきたいと考えております。

どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

契 約 係 長	松 井 大 輔
総務企画	越 越 志
算定病歴係長	野 和 正



契約係長 松井 大輔

4月にNHO北海道がんセンターから異動してきました契約係長の松井です。

今回初めての単身赴任で、子供たちのいない静かな生活に戸惑っています。早く登別病院になれて（特に硫黄の匂い）皆様のお役にたちたいと思います。よろしくお願ひします。

総務企画 総務係長 越野 敬

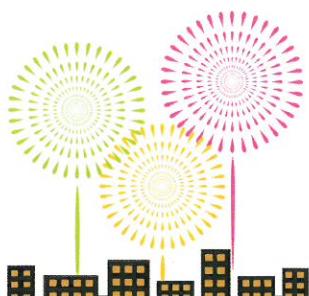
4月からまたお世話になります総務係長の越野です。

1年間という短い期間でしたが外から登別病院を見て、この病院の良い所、悪い所を感じ取れたように思います。この経験を生かしてこれから頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

算定病歴係長 志和 正幸

4月1日から総務企画課（医事班）に配属となりました志和正幸と申します。皆様にご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、よろしくお願ひします。

難しい表情をしていることが多いですが、気軽に話しかけてください。



新任のご挨拶

理学療法士 大塚 嶺祐 高橋 優花



今年度から理学療法士としてJCHO登別病院で働くことになりました新人2人です。

学生時代の実習では、患者様と一緒にリハビリをしていく中で大きなやりがいを感じることができ、理学療法士になりたい気持ちが強くなりました。その中で色々と辛いことやくじけそうになるようなときもありましたが、多くの方々に支えられてきたことにより無事に理学療法士になることが出来たと思っています。今後は、その方々への感謝の気持ちを忘れずに少しでも恩返しができるように先輩方にご指導していただきながら頑張っていきたいと思います。

また、1日でも早く患者様から信頼される理学療法士になれるように自覚と責任感を持ち、頑張っていきます。ご迷惑をお掛けするかもしれませんのがよろしくお願いします。



JCHO 登別病院のご案内

●外来診療体制

		月	火	水	木	金
整形外科	午前	オザワケイイチ 小澤慶一 タナカヒロキ 田中宏毅	オザワケイイチ 小澤慶一 タナカヒロキ 田中宏毅 タナカヒデナオ 田中秀直	ナカヤマケイスケ 中山恵介 タナカヒロキ 田中宏毅 タナカヒデナオ 田中秀直	オザワケイイチ 小澤慶一 タナカヒロキ 田中秀直	ナカヤマケイスケ 中山恵介 タナカヒロキ 田中宏毅 タナカヒデナオ 田中秀直
外科	午前			出張医 (予約制)		
内科	午前	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ヨコヤマトヨハル 横山豊治
	午後	出張医	出張医	出張医	出張医	出張医
神経内科	午前	出張医(予約制)			出張医(予約制)	
	午後	"			"	
ペインクリニック	午前		カマタノリコ 鎌田紀子			
泌尿器科	午前				出張医(予約制)	
					婦人科健診	

平成29年7月～9月まで

※診療体制が変更となる場合があります。その際は院内告知やホームページ上でお知らせします。

●外来診療受付・診療開始時間

	診療受付時間	備考
午前	8時30分～11時30分	9時から(神経内科は9時30分)から診療開始です

※時間外の場合は事前にご連絡をお願いします。

※整形外科は24時間365日の診療体制をとっていますが、土日夜間等は内科系医師が初期対応する場合があります。

●その他の事業

JCHO登別病院附属訪問看護ステーション
〒059-0598 登別市登別温泉町133番地 ☎代表(0143)84-2165

JCHO登別病院附属訪問看護ステーション サテライト事業所
〒059-0464 登別市登別東町4丁目23-4 ☎(0143)84-1983

JCHO登別病院訪問リハビリテーション事業所
〒059-0598 登別市登別温泉町133番地 ☎代表(0143)84-2165

JCHO登別病院短時間通所リハビリテーション事業所 トレイユ
〒059-0598 登別市登別温泉町133番地 ☎代表(0143)84-2165

JCHO登別病院附属居宅介護支援センター
〒059-0016 登別市片倉町6丁目9番地1 登別市総合福祉センター しんた21内 ☎(0143)88-2107

地域包括支援センターゆのか(登別市委託事業)
〒059-0016 登別市片倉町6丁目9番地1 登別市総合福祉センター しんた21内 ☎(0143)88-2106

JCHO登別病院
代表お問い合わせ先

電話番号 0143-84-2165 FAX番号 0143-84-3206
(予約等の受付は月～金8時30分～17時15分までです)

メールアドレス main@noboribetsu.jcho.go.jp
ホームページ http://noboribetsu.jcho.go.jp

婦人科健診はじめます!!

婦人科のがんの中で最も多いのが、子宮頸がんです。子宮頸がんは20歳から40歳前後まで発症することが多い癌です。子宮頸がんの原因はヒトパピローマウィルスの感染といわれております。性交渉の経験がある女性なら誰もが感染している可能性があります。

子宮がん検診は膣からプラスティックの細いヘラのような棒で子宮の入り口の細胞を採取して顕微鏡で調べる検査です。実際に細胞を採取して確認するため様々ながん検診の中でも精度が一番優れています。経産婦の方なら妊婦健診でも経験されていると思います。未婚の方はこの検査に抵抗を示す方も多いと思いますが、1年に1回の検査でいいのです。

今回、婦人科健診を担当して下さる先生は伊達日赤病院の田熊先生で非常に物腰の柔らかい先生と長年がん検診を担当している保健師が担当させていただきます。診察室には音楽が流れ、ゆったりとした雰囲気を作っています。足元はカーテンで隠れバスタオルで保護もしています。余裕があれば婦人科超音波健診も合わせて受けただくことで子宮全体や卵巣の状態を確認することができます。是非、一度JCHO登別病院の婦人科健診を受けてみてください。

**生活習慣予防の健診は、あなたの健康を
守り、明るい家庭生活を築くためにも、
定期的に受けることが必要です。**

文責 岩田

健診コース

- 日帰り人間ドック
- 生活習慣病健診
- 簡易健診【A】
- 簡易健診【B】
- 脳ドック（水曜・木曜）
- 若年健診
- レディース健診（毎月最終木曜）
- 乳がん検診（マンモグラフィ検査のみ）
- 子宮がん検診（細胞診 + エコー検査）

お申込み方法

健康診断は、完全予約制です。
お電話または、当院健診センターまでお越し下さい。

**（自治体の助成対象の健診も受けられます。）
お気軽にご相談下さい。**

幌別方面より当院まで、通院用バスを運行しております。ご希望の方は、ご連絡下さい。詳しい乗車場所、乗車時刻をお知らせいたします。（外来通院の方もご利用いただけます）

予約 受付

月曜～金曜（祝日を除く）
午後2時～午後5時
☎(0143)84-2165 健診担当



<各交通機関>

- JR登別駅下車（特急列車停車）登別温泉行きバス（病院前下車徒歩2分）
- 札幌-登別温泉高速バス（終点下車徒歩10分）
- 道央自動車道：登別東インターより7分



**ジェイコー
JCHO 登別病院**

独立行政法人地域医療機能推進機構登別病院

〒059-0598 登別市登別温泉町133番地
TEL(0143)84-2165 FAX(0143)84-3206

<http://noboribetsu.jcho.go.jp>
main@noboribetsu.jcho.go.jp

出版責任者 院長 伊藤美夫
編集長 事務部長 高橋尚幸